

豊かな森の実り ー ドングリー

秋になると多くの植物が赤、黄、緑、茶色など、艶やかな実をつけ、森の動物たちにとっても食べ物が豊かな季節となります。

右の写真は、陶史の森で育つ代表的な「ドングリ」の実です。ドングリとは、ブナ科のカシ・ナラ・カシワなどコナラ属樹木の果実の総称です。ドングリそのものが種子に見えますが、リンゴなどと同様に果実です。共通の特徴として、先端がとがり、表面の皮は硬く、上部はすべすべ、下部はぶつぶつしています。下部または全部をお椀状やまり状のものが覆っていて、これを殻斗かくだうといい、俗に「ぼうし」「はかま」などと呼ばれています。

ドングリは漢字で「団栗」と書きます。語源は諸説ありますが、実をコマにして遊んだことから、コマの古名「ツムグリ」が「ヅムグリ」となり、「ドングリ」に転じたと考えられています。ブナ類の木は、木炭や燃料、堅さを利用して農機具の柄として使われたほか、実も食用になったり遊び道具になったりして、人の生活と関わってきました。森に住む動物たちにとっても同様に、生きていくためにとっても貴重な実です。そんな貴重で豊かな陶史の森の樹木をしっかりと守っていきたいと思います。



コナラの実



アベマキ (コルククヌギ) の実



森の日記 / 8月20日(日)
真夏の一日 ～自然満喫～
立秋が過ぎてもまだまだ暑い日が続く、陶史の森でも、最高気温が35℃を超える猛暑日を連日記録していました。休日のBBQコーナーは予約でいっぱい、この日もテントを張って、近くの川で水遊びをしながらBBQを楽しむ人で賑わっていました。
陶史の森には、他にもちびっ子広場や散策路があり、たっぷり自然に親しむことができます。暑さもやわらぐこれからの季節、気軽に遊びに来てください。

教室のご案内

バードウォッチング (自由参加)

10月22日(日) 午前9時～11時
秋の野鳥を観察します。

11月26日(日) 午前9時～11時
晩秋の野鳥を観察します。

陶史の森ネイチャーセンター横、林泉の池堤防に集合してください。

葉っぱのしおりづくり

(要申込/定員20人)

11月4日(土) 午前9時～11時
色付いた葉っぱを採集し、しおりにします。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。